

科 目	地域・在宅看護論 I (地域・在宅看護の場を知る実習)								
時間数	1 単位 40 時間	授業方法	実習	授業時期	1 年				
実習場所		総合福祉施設やすらぎの郷 きぼうの苑—介護老人福祉施設・短期入所・通所介護・訪問介護・在宅介護支援センター あゆみ苑—障害者(身体)支援施設(入所・生活介護)・短期入所・訪問介護・移動支援 障害者生活支援センター・ ケアハウス夢テラス 総合福祉館コミュニティハウス三恵 多機能型事業所わくわくクラブ— 障害者(知的)の生活介護・放課後等デイサービス 新居浜医療福祉生活協同組合 中萩診療所と周辺関連施設 たかつ診療所と周辺関連施設 新田診療所と周辺関連施設 愛媛医療生活協同組阿合 泉川診療所と周辺関連施設							
ねらい	講義(地域・在宅看護の場と制度)とともに、生活や支援の場を訪問し、どんな人が利用しているか、居宅(自宅)や施設での生活を続けるために、どのような支援が必要か 等、見聞きする。 グループ毎に、出会った人や知り得たことを発表し、学びを共有することができる。								
目 標	1. 地域で生活する人に必要な支援(介護・看護・医療・相談事業等)が提供される<多様な場>を知る。 2. 多様な場やサービスを利用しながら暮らす、生活者である<看護の対象>を知る。 3. 学びを発表し、共有することができる。								
授業計画									
内容	1. 見学実習 グループに分かれて、実習場所を訪問する。 訪問した場所では、どんな事をしているのか、診療や看護、介護や生活支援について その場を利用している人や、そこで働く人の思いを聞く。 2. グループワーク 実際に見聞きしたことと、講義で学んだことを合わせて、地域で生活している人の健康や 暮らしを支えるの「場」について、どのような人が、どのような活動をしていたか、利用する人にとって、その「場」は、その湯小名役割を果たしているのか、考える。 3. グループ発表 互いの学びを発表し、共有する。								
評価方法	在宅看護論実習評価表、適性・態度評価表を総合して評価する								